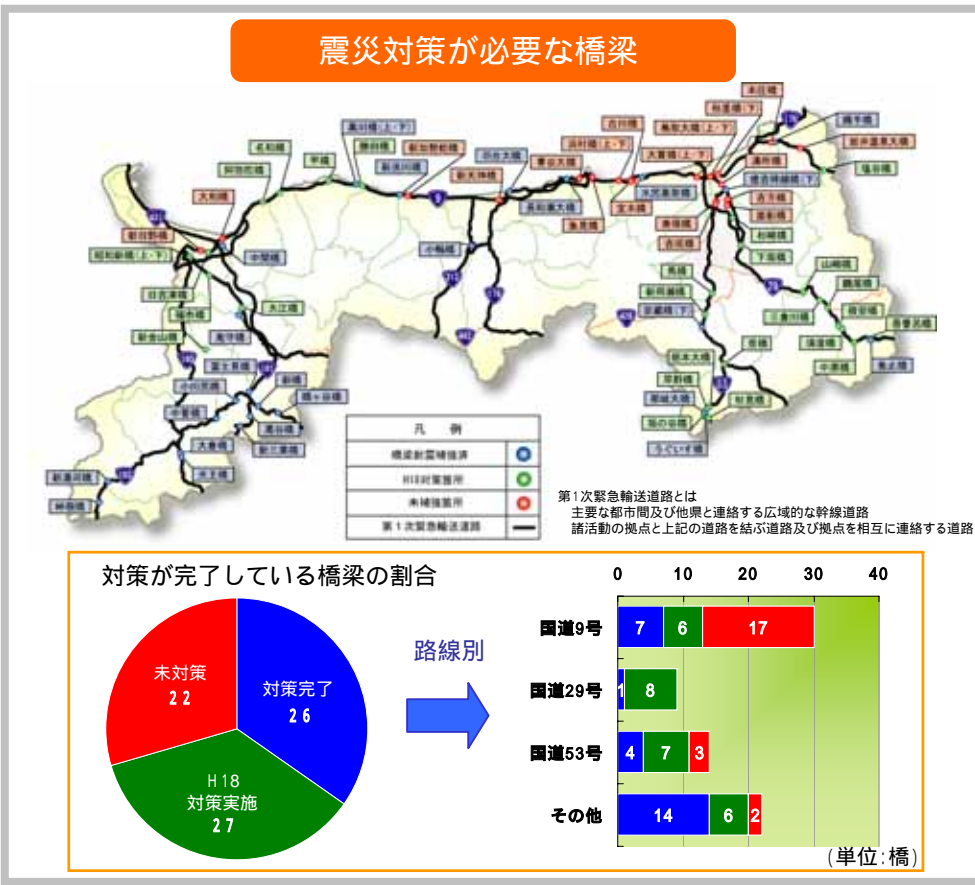


地震等の緊急時に交通流動を確保する

緊急輸送道路における橋梁震災対策率

1 鳥取県の現状

鳥取県では、地震等の災害が発生した場合に、避難・救助活動や災害後の生活支援を確実に実施するため、第1次緊急輸送道路を指定しています。
第1次緊急輸送道路のうち、耐震補強が必要な橋梁は75橋あります。



2 昨年度の成果（達成度報告）

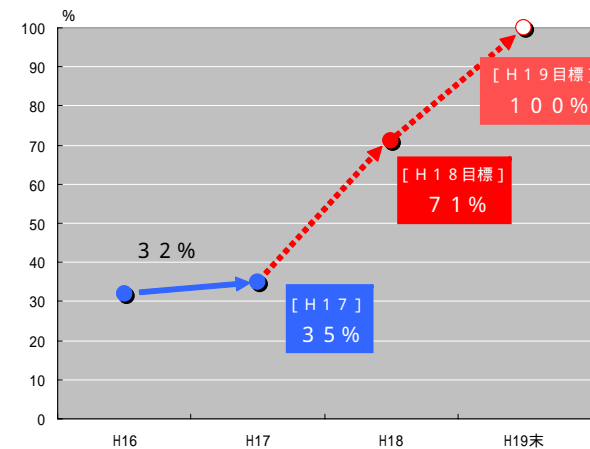
迂回路のない経路を優先に耐震補強を進めており、平成17年度については、関係機関との協議・調整が整った箇所について優先的に施工した結果、整備率は35%になりました。

3 本年度のとりくみ（業績計画）

耐震補強は、「緊急輸送道路の橋梁耐震補強3箇年プログラム」に基づき平成19年度完了を目指しています。この目標を達成するため、平成18年度においても、迂回路のない経路や中国自動車道からのネットワーク確保を優先するとの考え方のもとで、耐震補強を実施します。

平成18年度は、昨年度より協議・調整が整った27橋の橋梁において耐震補強を完了させ、アウトカム指標の目標71%（53橋）を目指します。

緊急輸送道路における橋梁震災対策率の目標



4 平成19年度目標達成に向けた展望

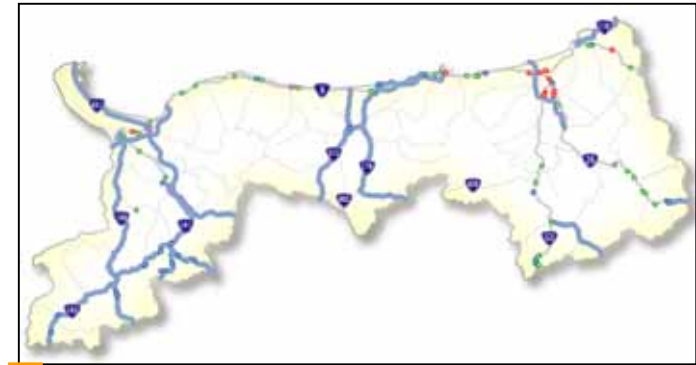
本指標の平成19年度目標値は100%であり、第1次緊急輸送道路における対象橋梁の75橋、全てにおいて耐震補強の完了を目指します。

平成19年度末までに完了予定の事業

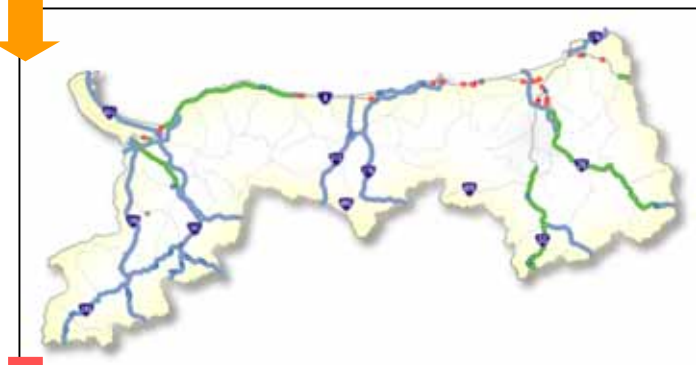


耐震補強が完了した緊急輸送ルートへの広がり

H17末



H18末
(目標)



H19末
(目標)



交流と連携

生き活きと

安全で安心